



平成 16 年 6 月 14 日

各 位

会 社 名 株式会社ワークスアプリケーションズ  
代 表 者 名 代表取締役最高経営責任者 牧野 正幸  
(登録銘柄・コード 4 3 2 9)  
問 い 合 せ 先 管理本部マネージャー 服部 雄策  
電 話 0 3 - 6 2 2 9 - 1 2 0 0

## スリー・シー・コンサルティングとの資本提携に関するお知らせ

当社は、下記のとおり、株式会社スリー・シー・コンサルティングの第三者割当増資を引き受ける資本提携を行い、同社を持分法適用関連会社化することといたしましたのでお知らせいたします。

### 記

#### 1. 資本提携先の概要 (平成 16 年 5 月 31 日現在)

- |              |  |
|--------------|--|
| ( 1 ) 商号     | 株式会社スリー・シー・コンサルティング                            |
| ( 2 ) 事業内容   | ディスクロズ責任からの経営コンサルティング<br>決算報告パッケージソフトウェアの開発・販売 |
| ( 3 ) 設立年月日  | 平成 11 年 7 月 1 日                                |
| ( 4 ) 本店所在地  | 東京都中央区日本橋 2 丁目 1 番 21 号                        |
| ( 5 ) 代表者    | 代表取締役 (公認会計士) 兒玉 厚                             |
| ( 6 ) 資本金    | 230 百万円  |
| ( 7 ) 発行済株式数 | 8,779 株  |
| ( 8 ) 従業員数   | 19 名   |
| ( 9 ) 売上高    | 95 百万円 (平成 15 年 6 月期)                          |
| ( 10 ) 経常損失  | 143 百万円 (平成 15 年 6 月期)                         |
- (注) 資本的関係、人的関係はありません。

## 2. スリー・シー・コンサルティング第三者割当増資引受による資本提携の概要

(1) 発行新株式数	3,000 株
(2) 当社引受株数	2,400 株
(3) 提携後保有比率	20.4%
(4) 提携後株主順位	第1位
(5) 新株発行価格	1株につき75,000円
(6) 当社払込金額	180百万円
(7) 払込期日	平成16年6月22日
(8) 人的関係	当社代表取締役石川芳郎を、同社株主総会における取締役候補者として選任いただく予定であります。

## 3. 提携の経緯

「COMPANY®」会計シリーズ(平成16年12月製品化予定)を持つ当社と、商法決算自動化システム「決算報告エクスプレス®」を持つスリー・シー・コンサルティングとで、広範囲にわたる業務提携を検討してまいります。

詳細は別紙をご参照ください。

## 4. 当社業績に与える影響

スリー・シー・コンサルティングの株式を20.4%取得することにより同社は持分法適用関連会社となりますが、みなし取得日を平成16年6月末日とする予定であることから、当社平成16年6月期業績に与える影響はありません。

以上

2004年6月14日  
株式会社ワークスアプリケーションズ

---

## ワークスが、スリー・シー・コンサルティングと資本提携 商法決算自動化システムを会計シリーズに組み込み

---

株式会社ワークスアプリケーションズ（本社：東京都港区、代表取締役 CEO 牧野正幸、以下ワークス）は、ディスクロズ責任を主題とした経営コンサルティングを行う株式会社スリー・シー・コンサルティング（本社：東京都中央区、代表取締役 児玉 厚、以下3CC）の株式を第三者割当増資により取得し、同社を持分法適用の関連会社とすることを発表いたしました。

ワークスが取得する株式数は2,400株（20.4%）で、これにより3CCの筆頭株主となります。取得金額は180百万円となります。

ワークスでは、本年末に出荷予定の大手企業向け基幹業務パッケージソフト「COMPANY®」会計シリーズに、3CCが開発した商法決算自動化システム「決算報告エクスプレス®」を組み込むことで、企業の情報投資効率をさらに高めるための機能強化を実現します。

### 決算報告向けパッケージソフトを開発する経営コンサルティング企業

3CCは、企業のディスクロズ責任を切り口とする経営コンサルティングの実施とともに、決算報告に関するパッケージソフトウェアの開発・販売を行っています。

コンサルティング業務は、実績ディスクロズ（商法計算書類、決算短信等）と予算ディスクロズ（キャッシュ・フローを含めた業績予想）の二つの柱からなり、現在の主力製品「決算報告エクスプレス®」は、前者に係るパッケージソフトウェアです。

「決算報告エクスプレス®」は、各種財務会計ソフトウェアのデータを元に貸借対照表、損益計算書、利益処分計算書、附属明細書を作成することはもちろん、営業報告書の財務数値部分に加え、株数情報や役員情報といった非会計情報までも一元管理する商法決算自動化システムです。決算短信作成機能もオプションで備えている「決算報告エクスプレス®」は、株式会社INAXシステム・ホールディングス、東急ファイナンスアンドアカウンティング株式会社、株式会社東京証券取引所、日本ゼオン株式会社をはじめ、公開会社、商法大会社を中心に120企業グループ、300セット超に導入されており、今秋には商法連結対応版の販売も開始される予定です。

公認会計士である3CCの代表取締役 児玉 厚の著作物としては、「設例と図解でわかる企業予算編成マニュアル（2000年清文社）」、「〔新版〕商法決算ガイドブック - 数値モデルによる計算書類の作成手順（2003年清文社）」などがあります。

### 「COMPANY®」会計シリーズへの組み込みで、決算報告業務の機能を強化

今回の資本提携を機に、ワークスと3CCは、開発と営業の両面における広範囲にわたる業務提携を検討していきます。

ワークスは3CCのパッケージソフトウェア「決算報告エクスプレス®」の独自性を高く評価しており、ワークスが平成16年12月に出荷を予定している「COMPANY®」会計シリーズとのデータ連携や、商法決算自動化機能を持つ「決算報告エクスプレス®」をOEM供給により「COMPANY®」会計シリーズへ組み込むことで、顧客の情報投資効率をさらに高めるための付加機能の拡充を図っていく計画です。

一方3CCは、今回の第三者割当増資により財務体質を改善することで、「決算報告エクスプレス®」の一層の機能強化を加速化するとともに、ワークスとの技術交流によって開発力を増強し、予算ディスクロースのための今後の新たなシステム開発につなげたいと考えています。さらに、ワークスからの営業支援による製品販売の拡大なども見込んでいます。

【商標について】記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標又は登録商標です。

#### お問い合わせ先

株式会社ワークスアプリケーションズ (<http://www.worksap.co.jp/>)

〒107-6019 東京都港区赤坂1-12-32 アーク森ビル19F

広報関係窓口 管理部 Tel : 03-6229-1203 Fax : 03-6229-1201

E-mail : [pr@worksap.co.jp](mailto:pr@worksap.co.jp)

株式会社スリー・シー・コンサルティング (<http://www.3cc.co.jp/>)

〒103-0027 東京都中央区日本橋2-1-21 第二東洋ビル9F

広報関係窓口 管理部 Tel : 03-3276-3255 Fax : 03-3276-3256

E-mail : [kubota@3cc.co.jp](mailto:kubota@3cc.co.jp)